

2025年度国際日本学研究科(博士前期課程)新規授業担当者 授業科目概要

(1) 多文化共生・異文化間教育研究領域

演習科目

授業科目名	職格 教員氏名	授業等の内容
多文化共生・異文化間教育演習ⅠA	専任准教授 平井 達也	IAでは、履修者が自分の博士前期課程で取り組むテーマを決め、それについてどのようにアプローチするのかについての大きな筋を決めることが前半の課題である。その際、自分自身の異文化体験やこれまでの人生に大きな影響を与えた経験などを個人ワークおよびグループワークを通して振り返る。その作業を通して、自分にとっての大切な問題意識や地域や社会において自分が望む変化を明らかにしていき、自分にとって意味のある研究テーマを見つけることを目的とする。後半では、そのテーマに関する論文や著書、もしくは社会における実践報告を読み進め、グループ内でそれらの内容をまとめて発表することで、自分の研究テーマをより焦点づけたものにするともに、活用したい研究方法についても学んでいく。夏期休暇前までにはパイロットスタディを計画し、夏期休暇中に実際にインタビューやアンケート調査などを小規模で実施する。 なお、異文化間教育については国や民族の違いという「国際」の観点だけでなく、異なる文化的背景という意味での「文化際」というより広い観点で捉えるため、学生のテーマも広いものになり得る。
多文化共生・異文化間教育演習ⅠB	専任准教授 平井 達也	IBでは、夏期休暇中に行ったパイロットスタディでの経験やデータの簡単なまとめをグループで発表し、それを踏まえて研究テーマや研究方法の見直しを行う。同時並行して、それぞれの研究テーマに関する前半でのパイロットスタディの振り返りを踏まえ、本調査の具体的な計画を設計し、後半ではその計画に則り調査を開始する。2月には、異文化間教育学会大会（6月に開催）の発表申請（ポスター発表等）を行い、3月に大会発表抄録のための原稿を提出する。これを通して、受講者の関心を調査と学会発表という具体的な成果に結実させる力量を鍛える。なお、本領域に所属する他の教員・大学院生との集団指導の回を適宜設定する予定である。
多文化共生・異文化間教育演習ⅠC	専任准教授 平井 達也	ICでは、研究テーマに関する文献をより広くレビューし、研究に活用できる研究方法や分析方法についてもさらに深く学んでいく。同時に、6月に開催される異文化間教育学会大会において発表するための調査の補足作業を行い、模擬発表を繰り返して洗練させる。大会発表後は、そこで得られたコメントなどをもとに、必要に応じて追加調査を実施し、修士論文執筆に備える。これらの活動を通して、修士論文の中核となる調査とその理論的な筋立てを最終的に完成させ、研究結果を明瞭に表現する力量やパワーポイントを用いた発表力を鍛える。
多文化共生・異文化間教育演習ⅠD	専任准教授 平井 達也	IDでは、6月の異文化間教育学会大会における個人発表、ならびに夏期休業期間中の追加調査に基づき、修士論文の最終的な構成を発表し、順次執筆しながら発表を繰り返して完成させる。